

平成 27 年度 学校評価(自己評価)

朝陽幼稚園

1. 教育基本方針

「強く 正しく 伸び伸びと」をモットーに、
園児を中心として、保護者の皆様、教職員全員が笑顔で関わりを深めます。この関わり合いの中で、園児の心の中に自信に溢れた成長意欲を導き出します。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ① 心身ともに健康で基本的な生活習慣を身につける
- ② 一人一人の個性を大切に、人間性豊かな想像力を育てる
- ③ 正しいことは勇気をもってやりぬく実行力を育てる
- ④ 思いやりをもってだれとでもなかよく遊べるように育てる
- ⑤ 社会に貢献する人格の形成をめざす

3. 評価項目の達成及び今後の課題

評価項目	目標	目標設定理由	評価	自己評価	次年度の改善
健康で基本的な生活習慣指導	色々な活動に応じて身体を十分に動かす。	体をうごかすことによって、心と身体の健康を保つ	B	課内教室「体育教室」を中心に遊びの活動を通して、十分に体を動かす機会が増えてきている。	次年度も継続して実施する。
想像力の醸成	生活や活動を通じて感受性を高める	絵画・音楽を通して、想像力を育てたい。	B	作品の制作や音楽活動を通して、伸び伸びと表現する園児が増えてきた。	表現領域の研修会へ、教員を積極的に参加させ、新しい教材研究のためのスキルアップを図る。 音楽会など継続して実施する
コミュニケーション能力の育成	日常英会話力の習得と育成 誰とでもあいさつができる。	身近な人との関わりの中で日常生活にで挨拶を交わす大切さを知る。 外国語を通してコミュニケーション能力を高める	A	登園・降園時、給食時、園行事にあいさつを指導するなかで、あいさつする園児が増えてきた。 外国語を遊びやゲームを通して楽しく活動している園児が増えてきている。	登園・降園時の挨拶指導を継続指導する。 英会話力を図る育成を強化する。
安全管理	園児の安全を守る教育・施設設備の充実	園内外で園児が安心・安全な園生活や園活動が取り組める。	B	教職員で施設設備の点検を行い、安全な器具・設備であるかを確認出来た。	雨漏り、外壁劣化箇所が散見されるので、補修工事を提案する。

保護者と の一体教 育	保護者ニ一 ズへの対 応・卒園生 への支援・ 広報活動の 充実	保護者に園の教 育活動について の理解を深める。	A	お誕生会・図書貸出など、 保護者の教育力の協力を 得て園行事が充実し、保護 者との協働感がうまれている。	園行事への保護者の教育 力を活かす取り組みをす る。
-------------------	--	--------------------------------	---	---	----------------------------------

※評価 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

3. 総合的な評価結果

評価	自己評価	次年度の改善
B	保育者同志による意見交換や保育内容の検討を重ね、園全体の質の向上と自身の保育技術向上に努めている。 更に園児の主体性を育む環境を提供できるように、教職員の資質向上に努めて行きます。	平成 28 年度より、満 3 才児対象の「ひよこぐみ」と未就園児対象の園庭開放「にこにこランド」を開設します。 今まで以上に幅広い園児層に対応出来るように、園全体の保育内容と自身の保育技術を向上させて行きます。

※評価 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

4. 学校関係者評価

学校関係者評価委員会の方々には、保育参観、運動会、生活発表会など、いろいろな保育場面を見て頂くようにしており、それを大切な評価観点とするようにしています。委員会では、朝陽幼稚園が大切にしている評価項目・取り組みが十分に達成されていることを確認させて頂きました。

朝陽幼稚園が提供する自然環境の中で小さな動植物と触れ合うことで、興味を呼び起こし、観察する力を育むことが出来たと思います。節分、豆まきなど季節毎の行事には御殿をお借りすることで、情操教育にも役立っているものと思います。

先生方の熱心な指導のおかげで、学習の面だけでなく「思いやり」と「協力・助け合い」の大切さを自然と理解し、子供達の成長は目覚ましいものがあったと思います。

【学校関係者評価委員会構成】

評価委員長:朝陽幼稚園保護者会会長

評価委員 :保護者会役員 5名

以上